

欧州では1991~2019年にADRの割合が減少

	獲得性薬剤耐性 (ADR)		
	n (%)	95% CI	傾向のP
合計	15392 (100)		
全DRM	10543 (68.5)	67.8-69.2	<0.001
NRTI耐性	9089 (59.1)	58.3-59.8	<0.001
NNRTI耐性	6499 (42.2)	41.4-43.0	<0.001
PI耐性	3727 (24.2)	23.5-24.9	<0.001
1クラス耐性	3616 (23.5)	22.8-24.4	<0.001
2クラス耐性	5080 (33.0)	32.3-33.8	<0.001
3クラス耐性	1846 (12.0)	11.5-12.5	<0.001
PI+NRTI耐性	1671 (10.9)	10.4-11.4	<0.001
PI+NNRTI耐性	63 (0.4)	0.3-0.5	0.179
NRTI+NNRTI耐性	3346 (21.7)	21.1-22.4	<0.001

- 1981~2019年に、治療歴のあるPWHの68.5%にADRが認められた。
- 1995~2019年に、ADRの割合にも全体で減少傾向が認められた (p for trend < 0.001)。
- 保有率が高かったのはNRTI (59.1%) に対する薬剤耐性変異で、次いでNNRTI (42.2%)、2クラス耐性 (33%)、PI (24.2%) の順であった。